

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム きらら

作成日： 令和4年12月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	(14)	利用者の尊厳とは何かについて、職員間の意識を統一する取り組みが必要である。	尊厳とは何かについて改めて学び、周知する。アセスメントの中に、より詳しい生活歴を盛り込み「その人を知る」取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修の活用。 ・利用者との日常会話の機会を有効に活用する。 ・日常のケアに回想法を取り入れ、過去を思い出していただくとともに、過去を知る機会とする。 ・新たに聞き取った生活歴は、アセスメント等を記録に落とし込む。 ・アセスメントシートの様式の見直し。 ・面会時などを活用し、本人の聞き取りの裏付けをとることも含め、家族からの聞き取りを行う。 	6 か月
2	(2)	コロナ禍で地域との交流が減少していることに伴い、地域等を含めた避難訓練及び災害訓練を実施できずにいる。協力者の役割を改めて見直す必要がある。	運営推進会議や地域振興会の集まりを活用し、災害時の協力体制について再確認を行うとともに、災害時の行動についてBCPの策定に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPの策定(法人意向の確認)。 ・地域と役割について改めて確認の機会を設ける(避難訓練や運営推進会議の活用)。 ・災害毎の行動について、再確認を行う。 ・感染状況に合わせた、地域や消防を含めた災害訓練の計画と実施。 	12 か月
3	(7)	現在、職員の意見はミーティング等を通してはいるが、個別での聞き取りの機会が持たれていない。	職員の意見を聞き取る機会を設け、個別の状況の評価等を行い、職務に対する意欲の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談の機会の創出。 ・個別面談の内容について、法人と協議する。 ・職員間で日常のコミュニケーションを心がけ、カーストが生まれにくい取り組み、互いに指摘や意見が述べられる関係性の構築。 	6 か月